

国際交流ニューズレター

No.36

特集：短期研修プログラムへのご招待

皆さんは「神奈川大学日本語・日本文化プログラム」をご存知でしょうか？外国人の方を対象に神奈川大学が実施するプログラムで、2011年度夏期から始まりました。短期研修プログラムとしては、他にも海外協定校が実施して神奈川大学生が参加できるものがあります。募集は不定期ですが、HPや掲示板でお知らせしています。

今号では、まだあまり知られていない短期研修プログラムをご紹介します。

神奈川大学日本語・日本文化プログラム (Kanagawa University Japanese Language and Culture Program)



▲日本文化体験（日本舞踊）



▲日本文化体験（書道）



▲雷門にて（東京観光）

▲鎌倉大仏の前で集合写真
(鎌倉・箱根研修旅行)

主に海外で日本語を学ぶ学生を対象とし、神奈川大学で7～8月の1ヶ月間、日本語と日本文化を学ぶためのプログラムです。初回の今年度は、本学協定校など7つの国・地域の大学から14名の参加者が集まりました。実践的な日本語力の向上を目的とした授業では、横浜キャンパス内や商店街でのインタビューなどを通して、生きた日本語を学びました。英語で行われる日本の社会・歴史・文化の講義のほか、茶道、書道などに実際にふれる機会も設けられました。鎌倉・箱根研修旅行や、交流会などは、神奈川大学の学生との親睦を深める良い機会ともなりました。

参加者の声（原文ママ）

T.Aさん（ブラジル・サンパウロ大学から）

Amazing experience. A place not only to learn about Japanese Culture and Language, but also to make lots of friends. Thank you Kanagawa University!

A.Mさん（ロシア・アストラハン大学から）

今回私は初めて日本にきました。それは実現し得ない夢だと思いましたが、実現になりました。初めての事はたくさんあったり、友達をたくさん作ったりするのはぜったい印象に残ります。先生達のみなさん、いろいろありがとうございました。



▲授業の様子



▲神大生との交流会



▲修了式

2011年度スケジュール

7月 8日（金）	クラス分けテスト オリエンテーション・キャンパスツアー 歓迎会
7月 11日（月）	授業スタート
7月 13日（水）	神奈川大学生との交流会
7月 16日（土）	東京観光（東京タワー、浅草、歌舞伎鑑賞）
7月 23 ～24日（土・日）	鎌倉・箱根研修旅行 (鶴岡八幡宮、鎌倉大仏、大涌谷など)
8月 4日（木）	授業最終日（プレゼンテーション発表）
8月 5日（金）	修了テスト 修了式・送別会

W.Xさん（中国・復旦大学から）

時はとても速いですね。すごく優しい先生たちと知り合って、とても光栄だと思います。国際的な学生と一緒に勉強するのもとてもいい経験になったと思います。日本に滞在中の生活は、毎日楽しかったです。勉強しながら、日本の日常生活を感じます。この経験を忘れずにこれからももっと勉強したいです。一生忘れられない、ここの全部のこと、また会いましょうね！将来は日中関係のかけ橋の人材になりたいです。本当にありがとうございます！



協定校招待プログラム

今夏に募集のあった3つの海外協定校実施プログラムに参加した方から、参加レポートを寄せてもらいました。

慶南大学校グローバルハンマプログラム「韓国で視野が広がりました」

国際経営研究科2年 藤巻 瞳さん

韓国で現地の学生と交流を深めながら、生きた韓国語を学びたいと思い、慶南大学校グローバルハンマプログラムに応募した。このプログラムに参加した3週間はとても有意義で、韓国語にとどまらず多くを学ぶことができた。

空港で私たちを迎えてくれたのは、トウミという日本語が流暢な慶南大学校の学生だった。トウミは滞在中の私たちの面倒をみてくれるバディーのような存在だ。トウミのおかげで生活に困ることはなかったし、一緒に過ごしてかけがえのない存在となった。

午前には3時間の韓国語の授業があり、午後は文化体験やスポーツ大会などのアクティビティがあった。韓国語クラスはレベル別に分けられ、内容が異なっていた。私は上級クラスに所属し、K-POPの歌詞の書き取り、伝統的なゲームなどを行った。ときどき宿題も出たが、韓国語への意欲も高まり、とても楽しい授業だった。週末は近くのショッピングモールへ出かけた。プログラムの一貫でソウルへも行った。史跡や民族村を見学し、明洞で買い物をして、ソウルを堪能することができた。

このプログラムには、中国、モンゴル、タイ、アメリカ、ロシアなどからの学生も参加していたため、多くの外国人の友達ができた。そのためには、語学はとても重要な道具だと感じた。韓国語だけでなく英語の上達を新たな目標にするきっかけともなった。多くの神大生にこのプログラムに参加して、新たなことを学んでほしい。



▲元気で和やかなクラス



▲修了証書を手元に記念撮影

上海市3Sプログラム「いま行かずにいつ行くの？」

中国語学科1年 佐藤つみきさん

FYSの先生から教えてもらってこのプログラムを知ったのは、応募締め切りの前日。締切が迫っていたため、親への相談より先に応募書類を書き上げたのも今ではいい思い出だ。

上海師範大学での1ヶ月間、午前中は同大学の院生による中国語の授業があり、午後は自由行動だった。午前中に学んだ中国語を実践すべく、私は毎日、バスと地下鉄を乗り継いで上海市内に赴いた。市内で英語が通じるのは海外系フランチャイズのお店のみ。必然的に中国語を話さなければならない環境の下で、この発音じゃ通じない、メモに書けば通じるだろうかと四苦八苦しながらも、楽しく刺激的な毎日を送ることができた。たった1ヶ月でも得たものは非常に大きい。知らないうちに発音は上達し、耳が中国語に慣れていった。

このプログラムの魅力はなんといっても、研修費・宿泊費が無料であること。そして、私のように大学入学とともに中国語を始めたばかりの初心者にも、門戸が開かれていることだろう。留学にはお金はかかるし、語学に自信がない……と悩んで行動に踏み出せなくても、こんなプログラムがあれば飛び込むしかないでしょう！



▲上海市内にて

国立アストラハン大学ロシア語特別プログラム「かけがえのない1ヶ月でした」

法律学科4年 坂田 潤さん

私は1・2年次にロシア語の授業を選択しましたがそれ限りで、空白がありました。しかし、「ロシア語が話せないからこそ参加しよう！」と思い切って、応募しました。

決断は間違っていないでした。生活は充実していて面白いことや驚きで一杯でしたし、大切な友人ができたことはなによりでした。授業は平日に90分授業が2コマありました。科目は「文法」「会話」「音声学」で、すべてロシア語で行われました。授業以外にも遠足や料理クラブなどの企画もあり、アストラハンを満喫できるプログラムでした。ホームステイ先は国立アストラハン大学日本語学科の学生さんのお宅で、川沿いにあるアパートでした。ロシアに新しい家族ができたようで嬉しかったです。

参加を迷っている人がいたら、私は絶対に行くことをお勧めします。ロシア語力はもちろん、人としても成長できます。アストラハンでの1ヶ月は間違いなく素晴らしい経験になるでしょう。



▲アストラハン市内の公園

本学の外国人留学生 12名からなる国際センター隊が「KU「東北」ボランティア駅伝」に参加しました！

「参加して感じたこと」

国際経営学科2年 汪暁璐 (オウ・ギョウロ) さん

7月8日から国際センター隊として遠野市でのボランティアに参加しました。ずっと前からボランティア活動に参加したいと思っていました。今回のチャンスを提供していただいた神奈川大学に感謝しています。

7月9日の朝、釜石市に到着しました。目に入るのは破損している建物ばかりです。大震災があった時、新聞とかのニュースを見て、震撼しましたが、こんな光景はこれまで写真でしか見ることはありませんでした。しかし、本当に自分の目で見た時、あの感覚は、言葉で言い表せないものでした。

ボランティアの内容は、遠野市で市役所の人と一緒に物資を分別して、整理することでした。それから、市立図書館では、全国から届けられた献本を運び、箱の中をチェックして、寄贈した人の名前と住所を写しました。家に帰ったあとも、すぐには両親に電話を掛けませんでした。自分は色々なことを考えました。災害を受けた人にもっとしてあげたい気持ちで一杯です。もし、大震災があったばかりの時に、すぐ何かをしてあげられたらもっとよかったですと思います。身近なひとをもっと大切にしたいです。

もし、チャンスがあれば、絶対ボランティアに参加したいです。もっと、やってあげたいです。



▲支援の物資を分別して整理する



▲遠野市長・警察署長（いずれも神大OB）から激励を受ける

「初めての地震から」

国際経営学科1年 孫義博 (スン・イボオ) さん

3月11日、平塚で借りたばかりの部屋を片付けていたとき、生まれて初めて地震を経験しました。知り合いのいない日本で連絡する当てもなく、どうすればいいのかわかりませんでした。テレビで被害の大きさを知ってからは、怖さより被災地の人達が心配になりました。

「KU「東北」ボランティア駅伝」に他の留学生と参加し、岩手県の釜石市と遠野市に行きました。現地では、大震災と大津波で都市や建物が全部壊れてしまっていました。人もいなくなった町を見ると、思っていたよりも大変なことで、本当に驚きました。遠野市役所では市長さん達から熱心なご挨拶をいただき、復興に向けて取り組む様子をテレビで見せていただきました。自分も出来るだけの力を発揮して、助けたいと思いました。

このボランティア活動を通して、一番伝えたかったのは「災害に負けないで、日本頑張れ！」ということです。日本人でもいい、外国人でもいい、周りの人を大切にしたいと考えています。また、大学生活の中で日本人学生達と交流するようになり、両国の文化をお互いに理解することが大事だと考えるようになりました。

最後に、留学生の皆さんへ。是非、このような活動に参加してみてください！ 周囲を助けられるし、自分の視野が広がり経験も積める、意味のある活動です。日本人や他国の人と知り合い、友達も沢山できるチャンスです。楽しいこと間違いなしです！



▲水没した文書等の復旧作業



▲文書を一枚ずつ丁寧にはがして間紙を入れる

国際交流イベント企画「交流スポーツ大会」に運営スタッフとして参加しました！

国際経営学科1年 楊龍(ヨウ・リュウ)さん

新入外国人留学生親迎会、新入外国人留学生親睦交流会、交流スポーツ大会、たこ焼きパーティなど、多くの国際交流イベント企画が行われました。私はすべてに参加しました(笑)

私は今回、湘南ひらつかキャンパスで行われた交流スポーツ大会に、運営スタッフとして参加しました。もちろん交流を楽しむことも重要ですが、参加するだけでなくいろいろなことにチャレンジした方がいいのではないかと思ったからです。経験がない私は、どうやればいいのか分からず、不安でした。でも、みんなで相談したり、先輩達に手助けしてもらったり、本当に助かりました。

当日は悪天候で不安でしたが、心配は無用でした。午前中のカップルドッジボールから午後のクイズ大会まで、ずっと笑い声が絶えませんでした。「また、やりたい!」「とても楽しかった」といった声もたくさん聞かれました。みんなの笑顔は、私たち運営スタッフにとって一番うれしい答えでした。

様々な人や文化が出会うことで、視野は広がり、知識も増えます。友達も増えてもっと楽しくなります。今後のイベントにも積極的に参加し、いろいろな人や物事に接することで、自分をもっと高めていきたいと思っています。

在校生のみなさん、これから入学するみなさん、是非!是非!留学生親睦イベントに積極的に参加してほしいです。きっと、あなたは大学生活を楽しく過ごせます。そして、将来のいい思い出になると思います。



▲参加者全員で集合写真



▲実施に向けてミーティング



▲カップルドッジボールの様子

INFORMATION



■ TOEFL-ITP 実施

下記日程で TOEFL-ITP (団体向けテスト) を実施します。なお、原則、各所属キャンパスでの受験となっています。

- 1月18日(水) … 横浜キャンパスにて実施 (湘南ひらつかキャンパス在籍者も受験可)
- 2月18日(土) … 横浜キャンパスにて実施 (横浜キャンパス在籍者対象)
- 3月5日(月) … 湘南ひらつかキャンパスにて実施 (湘南ひらつかキャンパス在籍者対象)

※ 2012年度の実施日程は未定です。

■ 2012年度派遣交換留学生を募集します

2012年夏に出発する派遣交換留学生を募集しています。詳細は国際センターが窓口・ホームページで配布している「2012年度派遣交換留学生募集要項」ならびに「2012年度外国語学部派遣交換留学生募集要項」をご覧ください。

応募期間 ロシア・スペイン・イタリア・中国・台湾…1月17日(火)～2月3日(金)
イギリス・アメリカ …… 1月17日(火)～3月6日(火)

★派遣交換留学生出願前ガイダンス

出願予定者は必ず「派遣交換留学生出願前ガイダンス」に出席してください。

- ロシア・スペイン・イタリア・中国・台湾への出願者…1月13日(金)
- イギリス・アメリカへの出願者… 1月19日(木)

※会場・開始時刻はキャンパスにより異なります。詳細は掲示のポスターをご覧ください。

★出願前相談コーナー

留学経験者がみなさんの疑問にお答えします。お気軽にお越しください。

- 中国(復旦大学) …… 1月16日(月) 9:00～12:30
- スペイン(サラマンカ大学) …… 1月17日(火) 10:00～12:30
- イギリス(アストン大学)・アメリカ(カンザス大学・カリフォルニア大学サンディエゴ校)
…1月23日(月) 12:10～16:00

会場 / 16号館1階 国際センター

2012年度派遣交換留学生 合格者



韓国 建国大学校
外国語学部 国際文化交流学科
1年次 島田 歌菜



韓国 建国大学校
外国語学部 国際文化交流学科
2年次 河野 夏美

※学年は2011年度

〈お詫びと訂正〉 No.35の4ページ目掲載の「2011年度派遣交換留学生合格者」におきまして、鈴木沙織さんは「上海師範大学合格」と記載しておりましたが、正しくは「北京師範大学」です。ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫びし、ここに訂正させていただきます。